



勝光寺ホームページ

勝光

令和7年8月号
庄原市三日市町
276-3
浄土真宗本願寺派
勝光寺
Tel 0824-72-0552
Fax 0824-72-0910

じんじょう
今朝のお勤め
今年も毎月、第二土曜日の
朝七時からお勤めを行います。
八月は九日(土) 午前七時
より行います。



お盆法座のご案内

お盆

お盆は正式には「盂蘭盆会(うらぼんえ)」といひます。語源はサンスクリット語の「ウランバナ」からきており、「逆さぶりの苦しみを救う」という意味があります。お盆は仏教由来の行事であるため、多くの仏教宗派でおつとめしますが、宗派ごとに供養の形式や考え方に若干の違いがあります。

浄土真宗は念仏者はこの世での命を終えると同時に極楽浄土に往生するという教えです。地獄の釜の蓋が開いて、霊がこの世に戻ってくるという考え方がありません。

浄土真宗では迎え火や送り火のような習慣は行わず、仏の教えに感謝し、お聴聞を勧めて阿弥陀様の本願の心を聴く機会だと捉えます。朝席の一席ですが、どうぞお参りください。

夕方からは楽しい「夕すずみ会」を企画しています。お子様連れでご参加ください。

8月17日(日)朝事 午前9時30分

講師 当山住職

第20回 勝光寺 夕すずみ会

2025 8.17 日 少雨決行

START ▶ 17:30 LIVE ▶ 18:30

駐車場 30台

17:00/おつとめ

- 本堂でお経をお勤めして往職のお話を聞きます。
- お勤めにお参り(参加)してくださったお子様にはビンゴカード(先着100名様)を用意しております。
- お念珠が準備出来れば持ってきてください。

17:30/縁日

- 境内のお店で楽しんでください。
- かき氷・わたがし・ヨーヨー釣り・ジュース・ポップコーンは各100円
- たこ焼きは200円で販売します。
- 受付で5枚綴の交換券(500円)を購入してください。

18:00/ビンゴゲーム

- 境内でビンゴ大会を行います。
- ビンゴが出たら高品ゲット!

18:30/コンサート

- 本堂の縁でエブロンバンドのコンサートがあります。
- みんなで盛り上がりましょう!

昨年たくさんの方にご参加いただいた夕すずみ会を、今年も開催いたします。おじいちゃんおばあちゃん・お父さんお母さん。お子さんの3世代でお越しいただいて、お子様方の夏の思い出の一つとして残る行事になれば幸いです。

アクセス

近田山 浄土真宗本願寺派 in 勝光寺

〒727-0021 広島県庄原市三日市町276-3 ☎0824-72-0552

ひばそ 比婆組キッズサンガ

お寺で楽しくすごしましょう！ほとけさまのお話やお参りのやり方をレクリエーションをしながら楽しく学びます。

保護者の皆様へ

お子様の心をどのように育てていますか。他をいたわる心は仏様に手を合わせることで育ちます。キッズサンガは宗祖親鸞聖人750回大遠忌を起縁として庄原市内の浄土真宗本願寺派寺院（19カ寺）合同で子ども達と仏様のご縁を結ぶ活動をしています。

趣旨をご理解いただき、どうぞお子様にご参加させていただきますようご案内申し上げます。

日時 令和7年8月18日月曜日 9:00～15:00

場所 西楽寺

727-0012 庄原市中本町1丁目10-10

電話 0824-72-0742（申込先は下記）

持参物 特にありません。お持ちであればお念珠を持ってきてください。

内容 お参り 仏事作法 おやつ 工作 団体ゲームなど

講師 龍谷大学伝道部、お寺の住職

対象 小学生（1～6年生） 参加費 無料



※ 申し込み方法

以下に書き込んで所属の寺院か担当者まで8/10までにお知らせください。

担当者 妙延寺 尾野義顕 Tel 0824-74-0531 fax 0824-74-0566

行事の様子の写真を機関誌や来年の申込用紙に使うことがあります。

申込用紙

児童氏名 _____（小 _____ 年生）保護者氏名 _____

よみがな _____

郵便番号 _____ 住所 _____

緊急連絡先 Tel _____

アレルギーなど注意があれば記入してください

阿弥陀経

舍利弗（しゃりほつ）という名前をこ存じですか

お盆の法座では、阿弥陀経をお勤めします。

阿弥陀経をお勤めしますと、何度も「しゃりーほつ」という言葉が出てきます。調べてみると全部で三十八カ所もあります。

お釈迦様にはたくさんのお弟子様がいらつしやいましたが、特に優れた十人のお弟子様を「十大弟子」と呼ばれ、舍利弗様は、その中のお一人でインドの言葉であるサンスクリット語では『シャリーーブートラ』と発音するようです。般若心経の中にも舍利弗様は登場します。

舍利弗様は、「智慧第一（ちえだいいち）」と呼ばれます。

お釈迦様の仏教教団を代表する存在であったと考えられています。

「智慧第一」とは、認識力、真理を見極める力のことです。つまり、お釈迦様が説かれる悟りの内容

正しく理解する能力に優れていたということですね。舍利弗様が、お釈迦様に代わって説法をすることもあるようですね。教団を運営する面は、お釈迦様ではなく、舍利弗様が行っていたといわれています。

しかし、舍利弗様はお釈迦様より年齢が若いのに、お釈迦様より早く亡くなります。一説には「阿弥陀経」は、命を終えようとしている舍利弗様にお釈迦様が「舍利弗よ」「舍利弗よ」と何度も何度も語りかけるようにして、これから新たに生まれていくお浄土の世界の様子と阿弥陀様の存在について説き示されていくお経なのであると解釈されています。

「舍利弗よ」と何度も呼びかけられているところから、『この阿弥陀仏の教えだけは何としても伝えておきたい』という、お釈迦様の強いお気持ちを感ずることができるところではないでしょうか。

阿弥陀経をお勤めするとき、こ

の「舍利弗よ」という呼び掛けを、自分自身への呼び掛けだと思いがらお勤めしてはいかかでしょうか。時空を超えて、お釈迦様が私に、阿弥陀仏とお浄土について語りかけてくださる。そんな思いが抱けるかもしれません。



快慶作 舍利弗像

夕すずみ会の翌日、同じ浄土真宗のお寺「西楽寺」で「サマースクール」が開かれます。参加申し込みが必要です。参加をお待ちしていますので、勝光寺までご連絡ください。